

河川協力団体

公益財団法人 草野河畔林トラスト財団

「草野河畔林トラスト財団」は、北海道内に約170haの河畔林、溪畔林を保有し、北海道における自然環境の保全、復元及び活用、環境教育等の事業を行っています。

石狩川に沿う「しのつ河畔林」では、学生ボランティアによる外来種駆除や市民に向けた自然セミナーを実施。また、全道の小学5・6年生を対象とした環境保護教育ツアーを企画・運営。これらの事業を通して、河川周辺環境の維持・改善意識の向上及び自然保護思想の普及啓発に努めています。

【平成23年(2011)設立】

河川協力団体としての活動内容

(令和7年3月26日河川協力団体指定)

石狩川水系石狩川

自然セミナー、外来種駆除活動、
環境保護教育ツアー



しのつ河畔林



主な活動状況

自然セミナーほか

毎年5月には酪農学園大学の学生ボランティアに協力いただき、特定外来種であるオオハンゴンソウの駆除を実施しています。また、市民を対象とした自然セミナーでは、河畔林の成り立ち、植物の植生を学びます。また、7月下旬には全道から公募した小学5・6年生による環境保護教育ツアーを実施しています。2016、2019年はハワイ、2024年は奄美大島にて実施しました。河川・海・山とそこに生きる動植物を観察、また、自然と共に生きる住民の皆さんとの交流を通じて、環境保護の姿勢を学びます。



学生ボランティアによる
外来種（オオハンゴンソウ）駆除活動の様子



市民を対象とした自然セミナーの様子



奄美大島で開催した小学5・6年生対象の環境保護教育ツアーの様子